

# 「福井の教育」をさらに充実！

## 県立学校の再編・整備

子どもたちの個性を伸ばすとともに、夢や希望を実現できる教育を目指し、県では、ゼロ歳から高校までの「福井型18年教育」を独自に推進しています。今年度も、さらなる教育の質の向上につなげようと、新たな活動を展開してまいります。

3月末に閉校した勝山南高校の跡地に、今年度、「奥越特別支援学校」を開校。福井市などへ通学していた児童・生徒や保護者の負担を軽減したほか、パンなど食品の製造、販売に関する学習を取り入れるなど、職業教育を充実します。

## 初の併設型中高一貫教育

県立学校としては初めての併設型中高一貫教育を、本格的にスタート。福井駅近くの高志高校に平成27年度、附属中学校（3学級・定員90名）を設置することが決定しました。県内全域から生徒を募集し、中学段階で高校の学習内容の一部を先取りして学ぶなど、6年間を見通した弾力的な教育課程により、高い学力と豊かな人間性を育む教育を推進します。

## 学力向上対策を強化

現役高校生の大学等への進学率は55パーセントに達するなど、普通科系高校を中心に、授業・カリキュラムの一層の充実が求められて



授業名人による公開授業で教員同士が学び合います。

## 英語・サイエンス教育、白川文字学を推進

英語教育の分野では、長年にわたり語学習得指導法のノウハウを持つNHKとの連携を強化し、教員研修をさらにレベルアップさせていきます。

また、小学4年生を対象に、英語による童話や動画を活用した表現学習を導入。小学5・6年生における外国語活動の充実につなげます。



春休みには高校生100名によるアメリカでの英語研修を実施

加えて、サイエンス教育も強化。中学生を対象に「夏休み科学実験チャレンジ教室」を新たに開催し、子どもたちの科学的な思考力を高め、理好きの裾野を広げます。



中学生を対象とした「理数グランプリ」も毎年開催

このほか、本県出身の故・白川静博士の偉大な業績をたたえ、新たに「白川静漢字教育賞」を創設。白川文字学等を活用したユニークな漢字教育を実践する人や、学校・団体などを全国から募集し、表彰するなど、漢字を含めた国語教育を改善してまいります。

また、この4月、若狭高校に「海洋科学科」を新設したほか、若狭東高校を農業、工業、商業を学ぶ総合産業高校として再編しました。

さらに、来年4月には、坂井農業高校や春江工業高校、坂井地区の高校の専門学科を統合し、「坂井総合産業高校（仮称）」を開校。今年度は、体育館を新築するほか、実習施設の整備を行うなど、将来の地域産業を支える人材を育成するための環境づくりを進めてまいります。

◎県学力向上センター  
(学校教育政策課)

☎0776-20-0295